



プライド ブランド 未来へ!!

10

2023.月信

VOI.04

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



プライド
ブランド
未来へ!!



表紙のお話



真清田の由来

当社の鎮座する一宮市は、古くは木曾川の流域に沿っていました。流域は常に文化の形成に大きな役割を果たします。一宮の発展にも木曾川の恩恵があります。

繊維の街として有名ですが、もともとこの地域は、木曾川の灌漑用水(農地へ水を人工的に供給すること)による水田地帯として、清く澄んだ水によって水田を形成していたため、真清田(ますみだ)と名付けられたといわれています。

11月11日(土)12日(日)『BISHU COLLECTION produced by TGC(東京ガールズコレクション)が真清田神社と一宮市本町商店街にて開催されます。世界三大ウール産地・尾州の中心地である一宮市が開催する『BISHU FES』にてTGC地方創生プロジェクトとコラボレーションであります。

文・写真提供 西尾張分区ガバナー補佐 則竹伸也

Contents

- 1 表紙のお話・目次
- 2 ガバナーズメッセージ
- 3 10月 地域社会の経済発展月間によせて
- 4 10月 米山月間によせて
- 5 10月 学友参加推進週間によせて
- 6 10月 世界ポリオデーによせて
- 7 活動報告:9月11日 クラブ公共イメージ向上委員長会議
- 8 活動報告:9月12日 第1回クラブ国際奉仕委員長会議
- 9 活動報告:9月15日 危機管理セミナー
- 10 特集:西尾張分区(9RC)紹介
- 14 会員増強報告



米山記念奨学事業への取り組み

この10月は米山月間ということもあり、「米山記念奨学事業」に触れたいと思います。

その前に、ガバナー公式訪問を8月22日よりスタートさせ、9月末で20会場、47クラブを訪問させて頂きました。どの会場・クラブに訪問しても身に余る歓待を受け、各クラブの対応に感謝する次第です。公式訪問の間での感想ですが、どのクラブも自クラブの文化を大切にしながら新たな変化を望んでいるところは共通していると感じました。それぞれのクラブが益々発展し会員一人ひとりが笑顔をもって、地域や世界で活躍される姿を思い浮かべると、私自身が幸福感を抱いてしまいます。10月に14会場、37クラブに訪問させて頂くことが今から楽しみです。

もう一つトピックスを報告します。

2025-26年度国際ロータリー会長が選出されたことです。

ブラジル、サンパウロのサントアンドレ・ロータリークラブ所属のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏です。職業分類は印刷業とありますが、印刷とグラフィック業界の会長を歴任されている方です。1974-75年度にロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州に派遣されたことからロータリーに関心を持ち、1980年に23歳という若さでロータリークラブへ入会し、その後は積極的に奉仕活動に参加し、国際ロータリーの要職も歴任されてきました。

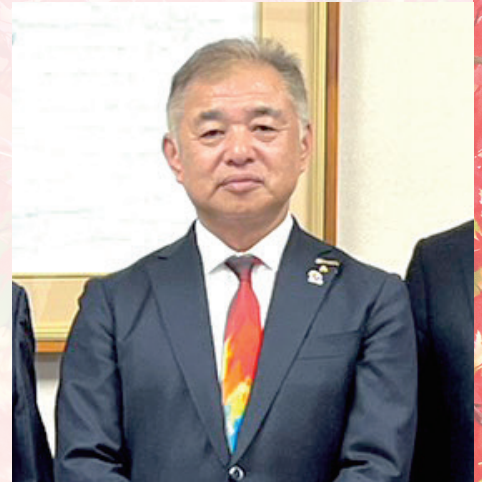
対抗候補者がでない場合、9月15日に正式にノミネーとなり、皆さんがこの投稿を読まれる10月、晴れて国際ロータリー会長ノミネーと発表されていることでしょう。

さて本題に入ります、「米山記念奨学事業」をもう一度説明させて頂きます。この「米山記念奨学事業」は日本のロータリーが実施している奨学金プログラムで、日本のロータリーの文化です。この奨学事業は、学生に対して経済的な支援を提供し、教育を受ける機会を提供することを目的としています。終了後は祖国に帰る学生や日本において就労につく学生もいます。そして学友となり、国境を越えてロータリーと結びつきながらリーダーシップを発揮していく姿をロータリーは望んでいるのです。昨年度はその成功した学友から1億円弱の寄付を受けている現実もあります。

その特徴としては

- 1、対象者として、優秀な学生や有望な若者を対象とし、学業成績が優れていることや、リーダーシップ、奉仕活動、社会貢献などの要素で評価しています。
- 2、奨学金の用途は、学費や教材費、生活費等、教育に関連する費用の支援に使用できます。
- 3、奨学生はロータリークラブの社会奉仕活動に参加し地域社会への貢献を行う事が期待されます。
- 4、選考は地区の裁量に一任されています。2760地区では、この4月から大学院生17名、大学生15名、合計32名を新たに選考しました。2年目の奨学生は23名であり、地区内における米山奨学生は55名となっています。

当地区は毎年多くの学生を米山奨学生として迎え入れ、ホストクラブとして協力頂き、また多くの寄付を頂きながら、この事業を成功へと導いています。引き続き皆さんの気持ちで、多くの学友誕生の基となり、国境を越えた架け橋となることを期待します。



2023-24年度 ガバナー 酒井 法丈



10月のロータリー特別月間「地域社会の経済発展月間」にあたり、寄稿させて戴きます。

皆さまもご存じのように、仕事があっても1日1ドル25セント未満の生活を送る人々が全世界で14億人いて、その内8億4200万人が慢性的な飢えに苦しんでいると言われております。貧困は失業や不完全雇用、ビジネスなど機会の欠如、社会保障の不備などに起因すると考えられます。これらの問題を解決するために、ロータリアンはこのような人々に生産的かつ十分な仕事の機会をつくり、経済と地域の発展を目指す奉仕プロジェクトを実施しており、これがロータリーの7つの重点分野の一つとして取り組んでいます。しかしその際に留意する事があります。まず「地域社会のニーズを調べる」ことです。地域の強みと弱みはどこにあるか、どのようにしてニーズに取り組めば効果的か考えなければなりません。そのためには地元の人々や団体と協力して、徹底した調査を行うことが求められます。地元との協力関係を構築することで、重要なニーズがみつけれられたり、より持続性の高いプロジェクトを実施したりすることが可能となる場合もあります。

次に「地域社会のニーズに応える」ための方策を考えることです。地域のニーズのある場合多くは「若者の失業率を下げる」「貧困問題に取り組むリソース」などと思われそうですが、調査の結果ニーズが存在しなかったとあって、決して調査が無駄だったということにはなりません。むしろ不必要な活動に時間や資源を費やさずに済み、また他のニーズを見つけることにつながる事もあります。

このような活動を通じて、ロータリアンは人に投資し、地域社会や人々の暮らしに持続可能な改善をもたらす、地域社会の経済発展を促すため人々の能力やスキル向上、生産性の高い仕事の創出、貧困の削減、仕事で活躍する事を目指す専門職業人のための奨学金支援等さまざまな取り組みを各地で実施しています。

最後にこの特別月間活動を通じて、ロータリアンの基本に戻り、「世の中で一番尊い事」を肝に銘じつつ、組織の目標を達成すべく共に進んで行きたいと思っております。

地区社会奉仕委員長 加藤 久雄
(名古屋葵RC)



国際ロータリー第2760地区ロータリークラブのメンバーの皆様には、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会・地区米山記念奨学委員会につきまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会には、多くのご寄付をいただき、ありがとうございます。

2023-24年度ガバナー特別賞において米山記念奨学事業としての下記の2項目達成で表彰の対象となります。

- ①クラブ一人平均2万円以上の寄付額を達成(特別・普通寄付合計金額)
- ②クラブ特別寄付率80%以上を達成(特別寄付人数÷クラブ会員数)

多くのロータリーメンバーに御協力いただけますようお願い申し上げます。

2023学年度、55名の米山奨学生を54クラブにてお世話いただいております。2024学年度においても53名の奨学生を迎えることとなりました。多くのクラブが世話クラブとしてお引き受けいただきますようお願いいたします。

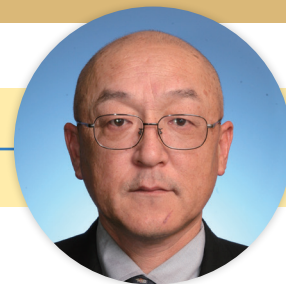
10月の米山月間には、米山記念奨学会・地区米山記念奨学委員会の活動をご理解いただきたく、また少しでも多くのご寄付をお願いできますよう各クラブにお伺いいたします。よろしくようお願いいたします。

米山記念奨学委員会として、ロータリーメンバーの皆様から「寄付をしてよかった」。クラブから「奨学生の世話をしてよかった」。奨学生から「米山記念奨学生になってよかった」と言っていただけるよう活動してまいります。

地区米山記念奨学委員会の活動をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

地区米山記念奨学委員長 **大橋 均**
(知立RC)





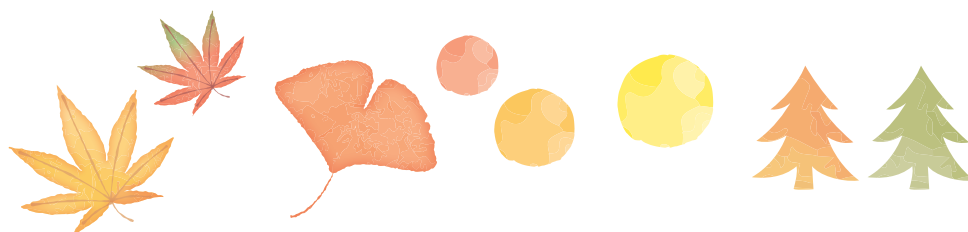
RI理事会は、10月7日を含む1週間を「学友参加推進週間 (Rotary Alumni Reconnect Week)」として「学友」をクラブの例会や奉仕プロジェクトに招待し参加させることを奨励しています。

先ほどから述べている「学友」については、今までのロータリー活動では耳慣れない言葉かもしれません。ほとんどのホームクラブに「学友」と名の付く組織はありません。この「学友」とは、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者育成プログラム (通称RYLA)、ロータリー平和フェローシップ、ロータリー奨学金 (グローバル補助金又は地区補助金)、職業研修チーム、国際親善奨学金、大学教員のための補助金、研究グループ交換 (GSE)、米山記念奨学生などのプログラムに参加した経験のある者を意味する言葉です。

「学友」は、私たちのロータリープログラムに参加して、新鮮な企画を体験し、あるいは提案・実現して、ロータリーの青少年奉仕活動を実践し、それぞれが感動を体感していますが、そのプログラムが終了すると、多くの「学友」はロータリーとの関係が薄れてしまいます。しかし、「学友」の中にはロータリープログラムに継続的に参加したい、ロータリーとの繋がりを維持したいと考えてくれるメンバーも少なくありません。

そこで、私たち地区学友会では、ロータリープログラムの垣根を取り払って「学友」メンバーの親睦を図りつつ、「学友」による新しい奉仕活動を企画・運営していこうと思います。そして「学友」がロータリーファミリーの一員としてロータリー活動に参加することが、地区・クラブの更なる活性化に寄与することを期待しています。

地区学友委員長 **金山 明史**
(豊田西RC)





今年も世界ポリオデーが10月24日に開催されます。当地区では昨年同様ロータリー財団委員会を中心となってチャリティーゴルフコンペを開催します。またエンドポリオのフォトコンテストへの参加も検討しております。

ご存じの方もたくさんいらっしゃるかと思いますが、この日は世界で初めてポリオの不活化ワクチンを開発した米国のジョナス・ソーク博士の誕生日を記念して、国際ロータリーが制定したものです。また時を同じくしてアルバート・セービン(サビン)博士も経口の弱毒生ワクチンを開発しました。

セービン博士はロシアで生まれましたがのちに米国に帰化しており、二人は共にポリオと戦った英雄として世界で尊敬されています。しかし彼らが英雄と称えられるのは、ワクチンの開発に長年尽力した事だけが評価されている訳ではありません。特許を取れば莫大な利益が得られるのに、二人とも敢えてワクチンの特許を取得しないという決断をしたのです。個人的な蓄財より、ワクチンが世界中に広まりポリオが一日でも早く根絶される事を望んだのです。

ソーク氏の談話としてこのような話が残されています。特許権は誰が持つのか、というインタビューに対して彼はこう答えました。「それは皆さんのものだ。だって太陽に特許はないでしょう。」私はエンドポリオの活動の中で、私たちロータリアンが真に受け継ぐべきものは、この崇高な精神ではないだろうかいつも思っています。

今年度も我々ポリオプラス委員会ではエンドポリオ活動を行っています。中心となるのは地区大会およびRFFでの募金活動ですが、PPS(ポリオプラスソサエティ)への入会の勧誘にも力を入れています。これは毎年100ドルをロータリー財団の「ポリオプラス基金」へ寄付する事を約束していただいたロータリアンに対して、ご登録いただき登録証とソサエティメンバーへのピンバッジを受け取っていただくものです。またこの寄付は財団への寄付実績に反映され、ビル&メリンダゲイツ財団より2倍に上乘せされる対象ともなります。是非皆様ご登録いただきますようお願い致します。

地区ポリオプラス/職業研修チーム委員長 **青山 貴彦**
(瀬戸RC)



アルバート・サビン



ジョナス・ソーク



PPS バッジ



令和5年9月11日名鉄グランドホテルに於いてクラブ公共イメージ向上委員長会議を開催いたしました。今回の会議は内向き外向きの広報が有る中でマスメディアを活用した外向きの広報を中心に進めさせていただきました。古市晃久副委員長の司会進行で、酒井法丈ガバナーより「良いことは黙ってやれとされてきたが今は広く伝えていくことが求められています。本日は発信する方法など学びそして活用してもらいたい」等のお話を頂き、石井



酒井法丈ガバナー挨拶

弘子地区会員増強委員長より、委員会同士の交流の大切さをお話いただきました。また、マイロータリーの説明を児玉憲之副委員長より行いました。クラブメンバーへ登録の呼びかけ・定期的な訪問・ラーニングセンター活用をお願いいたしました。ロータリーの友の活用については池森由幸ロータリーの友地区代表委員に映像による説明をいただきました。ロータリーの友は、他クラブの活動を知り自クラブの活動を知らせるツールなので、ぜひご活用ください。続いてマスコミ活用の事例報告を竹内淑江名古屋城北RCパスト会長にいただきました。マスコミへは早めのアプローチが必要なこと、新聞掲載によりクラブの士気が上がりモチベーションが高まったことなど参考になるお話を聞かせていただきました。特別講演としてテレビ愛知株式会社代表取締役副社長須江剛行様に「マスメディアの現状と広報戦略」のテーマで講演していただきました。

また、今回は初めての試みであるグループディスカッションを行いました。各テーブルでマスメディアで活用した広報他について活発な意見交換がなされました。

講評を津坂守英ガバナー補佐より、閉会の辞を光岡主税地区副幹事よりいただきました。盛り沢山の内容でしたが、是非ともクラブに持ち帰って活用していただきたいと思えます。

地区公共イメージ向上委員長 **堀尾 明史**
(尾張中央RC)



テレビ愛知須江副社長 講演



グループディスカッション



9月12日(火)、名鉄グランドホテルにて、第1回クラブ国際奉仕委員長会議を開催しました。

2020年から始まった新型コロナウイルスパンデミックの影響はロータリー活動にも大きな影を落としました。とりわけ国際奉仕活動の上には、海外渡航の禁止、ロックダウン等を受け、各クラブでの国際奉仕に対するモチベーションの低下を余儀なくされました。

こうした中、当地区国際奉仕委員会は地区委員会事業として、「水と衛生」に関連してラオス・ビエンチャン県ナーセー村に簡易水道と給水塔、及びトイレ、手洗い場の建設、また、「ロータリーの森」へのマンゴーの植林事業を行い、地区内の多くのクラブからの御協力を頂きましたが、ロータリーの原則はあくまでも各クラブの主体的な奉仕活動にあります。地区は本来、各クラブの国際奉仕活動の相談役であり支援役でなければなりません。その大前提に立って、各クラブへの国際奉仕に関する情報提供を委員会活動の主眼として、この国際奉仕委員長会議を通して国際奉仕活動の重要性を再確認いただき、行動をしていただくためのヒントとなる会議構成といたしました。

冒頭、酒井ガバナーは御挨拶の中で、各クラブの事情を考えると国際奉仕は一朝一夕にはいかにいが、多くの情報を集め段階を踏みながら奉仕活動につなげていくためにこの会議を役立ててもらいたいとお話しになり、次に藤野直子地区補助金委員長より地区補助金、グローバル補助金についての卓話を頂き、その後地区国際奉仕委員会より各クラブの国際奉仕活動の現況と紹介、クラブ同士の情報交換、また身近な国際奉仕活動として海外への渡航なしで国内で出来る新しい国際奉仕を考えるとというテーマのもと、卓話と情報交換会(ディナーミーティング)という形式を用いて活気に満ちた有意義な情報交換、国際奉仕の啓蒙を行うことができました。

地区国際奉仕委員長 **渡邊 寿也**
(豊田RC)



ガバナー挨拶/酒井法丈ガバナー



各補助金についての卓話/藤野直子地区補助金委員長



会議中の様子



情報交換会の様子



1 令和5年9月15日15時から、2023-24年度危機管理セミナーが開催されました。本年度も、昨年度と同様、ガバナー事務局会議室を本拠とし、オンライン(ZOOM)による開催となりました。本年度のセミナー参加者は147名(うち、オンライン参加者130名)となりました。

2 本年度は、「スマホ社会における青少年保護」をテーマとし、前半は、愛知県警察本部生活安全部の江口彩太郎様を講師にお迎えし、「SNSに起因する少年の非行・被害の情勢と対策」についてご講演いただきました。講演では、「闇バイト」、「大麻」、「パパ活による性被害」、「不適切動画投稿による検挙事例」など、現実起きた青少年の加害、被害事例が報告されました。また、青少年を被害者にも加害者にもならないための様々な対策、活動についてもご紹介いただきました。

3 後半は、地区の青少年交換委員会加藤謙一委員長、インターアクト委員会大塩啓太郎委員長、RYLA委員会田中靖達委員長と江口講師にパネリストをお願いし、ロータリーの青少年関連事業において現実に起こったSNSに起因するトラブル事例を題材に、我々ロータリアンがどう対処すべきかについて意見交換をすることができました。

4 当委員会としては、本セミナーで得た情報を、セミナー参加者から各クラブの会員に提供して共有していただき、今後各クラブが行う事業において、青少年が被害者にも加害者にもならないように、適切に運営をしていただくことを期待したいと思います。



酒井法文ガバナー挨拶

地区危機管理委員長 **大見 宏**
(安城RC)



講師 愛知県警察本部生活安全部 江口彩太郎様



パネルディスカッション

西尾張分区紹介



西尾張分区ガバナー補佐

則竹 伸也

(一宮RC)

平成17年4月1日、一宮市・尾西市・木曽川町が合併し、人口約37万人の新生「一宮市」が誕生しました。当地域は繊維産業を基盤として栄えてきました。

近年では地場産生地「尾州」のブランド力強化を進めると同時に、企業誘致の推進により産業の複合化を図っています。また市内には高速道路の9つのインターチェンジと一宮ジャンクションがあります。東西の大動脈である東名・名神高速道路と、太平洋側と日本海側をつなぐ東海北陸自動車道の結節点として、重要な位置にあります。

市北部から西部へと約18キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指しています。

平安時代に国司がその国の神社を参拝して回る時、最初に出掛ける神社を「一の宮」と言いました。尾張の国の「一の宮」が真清田神社であったことから、その門前町であるこの地域がいつしか「いちのみや」と呼ばれるようになりました。

令和5年8月1日現在の一宮市人口378,908人。



138タワー



七夕まつり



一宮モーニング



コスプレ

一宮ロータリークラブ

会長 足立 誠

幹事 富田 隆裕

2023-2024年度の活動の主たる事業は、「子ども食堂」のプラットフォーム作りです。

この活動を継続的かつ包括的に将来にわたって実施できるよう、社会奉仕委員会が、食料の備蓄・ロスの解消、さらには非常時における社会への対応も含めて、広い視野で検討しています。備蓄のベースの常設(倉庫の借り上げ)・企業協賛による食料備蓄、フードロス解消・一宮市、真清田神社の協力、さらには地元NPOの活動をサポートすべく人的協力として、提唱インターアクトクラブの協力が挙げられます。委員長を始めとする委員会メンバーは、将来に繋がるプロジェクトを目指しています。



本年度(2023-2024)1人目の新入会員の入会式



昨年度(2022-2023)実施済みの「子供食堂」

津島ロータリークラブ

会長 伊藤 基

幹事 加東 育郎

津島ロータリークラブは、おかげさまで昨年度創立70周年を迎えることができ80周年に向けて歴史と伝統を重んじながら未来につながる活動を展開していこうと考えています。

本年度は、子供たちに郷土愛を育む事業として「第22回天王子ども塾」の継続、地区補助金事業「信長誕生の勝幡城と地域文化の歴史を学ぶ」と題し小和田哲男氏を講師に迎え、中学生を対象に織田信長と当地区の関わりについて学んでいただく事業をメインに活動していきます。

こうした活動の中で、会員相互の絆を深め津島ロータリーの名を地域に発信し、新たな仲間を増やしていきたいと思ひます。



創立70周年 祝賀会(合唱)



天王子ども塾会場の様子(会長挨拶)

尾西ロータリークラブ

会長 上田 芳敬

幹事 武鹿 正治

1955年創立の当クラブは、一宮市の旧尾西市地域を中心に活動しております。今年度は創立69年目を迎える歴史と伝統を長く継承すべく、仲間を増やし、ロータリーを学び、尾西地域の良さを見いだす活動をしていこうとスタートしました。

現会員数は19名ではありますが、昨年度は4名の仲間が入会し、本年度もすでに2名の入会が確定しております。少人数ではありますが、全会員の顔が見え、フレンドリーで、例会や懇親会では楽しい時間を過ごしております。その中で、ベテラン会員からロータリーや当クラブの歴史、伝統を学び、正しくロータリー活動を継承していこうと考えております。

今年度も、NPO法人寺子屋支援やびさいまつり協賛等、尾西地域に根づいた活動を継続します。



びさいまつりに協賛し嗅覚分析などで出店広報活動しています



永年にわたり優良社員表彰を開催しています



NPO法人寺子屋支援をしています



年末家族会をはじめご家族も含めた親睦会などを多く開催しています

一宮北ロータリークラブ

会長 角田 隆幸

幹事 竹内 彰

当クラブはなんといってもアットホームなクラブ雰囲気尽きると思います。新入会員に対し、肩を張らない、壁を作らない、優しく楽しいクラブをメンバー全員で作っています。また、女性会員の割合が17%と、2760地区の中でも1、2を争う割合であります。

また、本年度で12回目となる「花水木賞」という、一宮市を中心に活動しているボランティア団体や個人に対し、当クラブのパストガバナーである豊島徳三君より毎年50万円の寄付を預かり贈呈をし、例会にて活動報告をして頂き、その内容を当クラブホームページにて広報して外部の人にも認識して頂けるよう努めています。



第11回花水木賞表彰



2023-24年度 理事・役員・委員長

稲沢ロータリークラブ

会長 永井 伸治

幹事 金森 貴史

本年度の当クラブの会長方針は、「創立60周年を祝おう、ROTARYでつながろう、未来へつなげよう」です。本年度創立60周年を迎え、永きにわたり歴史と伝統を紡いできた諸先輩方の熱き情熱を現在、未来へとつなげて行く活動を続けていきます。

また、ロータリー財団地区補助金事業として、稲沢市に本拠地を置くプロバレーボールVリーグウルフドックス名古屋様のご協力により、市内中学校バレーボール指導会を開催し、秋の新人戦にも「稲沢ロータリークラブ杯稲沢支所中学校秋季体育大会」とうたって広く地域の方に我々の活動を知っていただく事業を行っています。



熱心に指導するVリーガーと真剣なまなざしの中学生たち



開会の挨拶をする永井会長

あまロータリークラブ

会長 加藤 春視

幹事 竹田 竜一郎

あまロータリークラブには、メンバーの交流をさらに深めるために趣味の会があります。47名在籍する「ゴルフの会」、ボジョレーヌーボーを樽で楽しむ「ワインの会」、「魚釣りの会」など、10種類に及ぶ趣味の会、参加者181名強です。

特徴的なのは、奇術の会がありコインのマジックを披露し、手指の甲にコインを挟み右から左へ左から右へコインを移動して、突然コインを消し、会員の皆さんを楽しませました。また、周りの人たちを和ませてくれたのが楽しかった。

当然、各委員会でも趣味の会での日頃から喜びをともにするメンバーが、友を作り親睦と交流が続けられています。

これが、あまロータリークラブの伝統であり、「何時までも若々しく、楽しく、メリハリのあるスマートなクラブ運営を心がける」ことが、わがクラブの最大の特徴であり活動の原点です。

そして、今期は会員皆様と大竹和美初代会長に感謝が届く創立55周年記念行事を迎えたいと存じます。



姉妹クラブ 台湾・汐止RC歓迎夜間例会



ゴルフ部会の皆さん

名古屋清須ロータリークラブ

会長 前田 昌樹

幹事 出原 直朗

名古屋清須ロータリークラブ グローバルgrant委員会の代表メンバー6名は、企画中のプログラムの打ち合わせのためにイスラエルを訪問した。このプロジェクトは目的の一つはアラバ研究所の平和指導者養成セミナーにて、中東の紛争調停のために効果的な指導者養成を目的としている。目的の2つ目は、イスラエル国内に広島・長崎の原爆資料館のミニタイプを設置し、人々に核戦争は決して行ってはならないことを知ってもらおうとするものである。設置場所として、アキバ・カレッジ (Achva College) が推薦されており、環境等のチェックが今回の訪問目的であった。一同は、エルサレム旧市街とイスラエル博物館死海文書展示館を訪問し、死海の観光、そしてヨルダンへ陸路で国境を越え、ペトラ遺跡の観光も行い、良い思い出となった。



原爆資料館予定地 (アキバ・カレッジ)



原爆資料館予定地 (アキバ・カレッジ)

尾張中央ロータリークラブ

会長 魚住 尚三

幹事 田島 雄

尾張中央ロータリークラブは、現在会員数は27名で北名古屋市を活動の拠点としています。地元の先輩後輩の繋がりもあり、仲間意識が非常に強く、とても良い雰囲気です。

毎年、社会奉仕活動の一貫として、北名古屋市内の清掃活動 (春のゴミゼロ運動) に参加したり、提唱クラブとして2019年に設立した名古屋芸術大学ローターアクトクラブの例会に参加させて頂いたりして、近況報告や情報交換を行ったりなど交流を深め、親睦を図っています。



春のゴミゼロ運動 (北名古屋市内にて)



名古屋芸術大学RAC第93回例会
それいけ!大人も大運動会

一宮中央ロータリークラブ

会長 内田 泰潤徳

幹事 野田 義広

1990年10月に一宮北RCを親クラブとして設立され、今年で33年になります。例会は、毎週水曜日の夜間例会です。仕事が終わる頃に例会が始まるので大変好評です。例会が終われば、会員同士の付き合いが盛んに行われています。

クラブの活動は、青少年ミニサッカー大会を主催しています。2008年からコロナ禍を除いて毎年開催しており、地域の小学生サッカークラブのメンバーによる交流試合を行います。

国際奉仕では、過去10年間に渡り、カンボジのアンコールワット遺跡近郊にあるバイオン中学校の施設の建設や食料支援の活動を行なっています。

また今年度は、米山奨学生としてカンボジア出身の学生を受入れています。五大奉仕を中心に奉仕の心を学び、地域社会、国際社会で実践出来るように心がけています。



青少年ミニサッカー大会



カンボジア国際奉仕活動

2023-24年度 会員増強報告(2023年8月末)

クラブ名	7/1	7/31	8/31	8/1-8/31	8/1-8/31	8/31	8/1-8/31	8/1-8/31	8/31	
	会員数 (加退会含む)	会員数	男性会員数	男性入会	男性退会	女性会員数	女性入会	女性退会	会員数	
南尾張分区	半田	57	57	51	0	0	6	0	0	57
	常滑	32	34	34	0	0	0	0	0	34
	東海	39	40	38	0	0	2	0	0	40
	東知多	20	20	19	0	0	1	0	0	20
	半田南	30	30	29	0	0	1	0	0	30
	大府	20	21	21	0	0	0	0	0	21
	6RC	198	202	192	0	0	10	0	0	202
西尾張分区	一宮	109	110	110	1	0	1	0	0	111
	津島	53	53	48	0	0	5	0	0	53
	尾西	19	19	18	0	0	1	0	0	19
	一宮北	35	36	30	0	0	6	0	0	36
	稲沢	54	55	51	1	0	5	0	0	56
	あま	65	65	60	0	1	4	0	0	64
	名古屋清須	33	35	33	0	0	2	0	0	35
	尾張中央	27	27	27	0	0	0	0	0	27
	一宮中央	37	37	35	0	0	2	0	0	37
	9RC	432	437	412	2	1	26	0	0	438
	東尾張分区	瀬戸	50	53	52	1	0	2	0	0
犬山		47	49	50	1	0	0	0	0	50
江南		48	48	48	1	0	1	0	0	49
小牧		26	26	23	0	0	3	0	0	26
春日井		50	51	51	1	0	1	0	0	52
尾張旭		20	21	18	0	0	3	0	0	21
名古屋空港		51	52	48	0	0	4	0	0	52
瀬戸北		52	52	46	0	0	6	0	0	52
岩倉		8	8	7	0	0	1	0	0	8
名古屋城北		28	28	23	0	0	5	0	0	28
愛知長久手		14	16	12	0	0	4	0	0	16
愛知ロータリーE		13	14	12	1	1	3	1	0	15
12RC		407	418	390	5	1	33	1	0	423
西名古屋分区		名古屋	173	174	171	1	1	3	0	0
	名古屋西	84	88	88	1	0	1	0	0	89
	名古屋南	103	103	104	1	0	0	0	0	104
	名古屋みなと	56	58	56	0	0	2	0	0	58
	名古屋東南	93	99	86	0	0	13	0	0	99
	名古屋中	131	132	132	0	0	0	0	0	132
	名古屋瑞穂	66	69	69	0	0	0	0	0	69
	名古屋大須	59	61	56	1	0	6	0	0	62
	名古屋栄	98	101	101	0	0	0	0	0	101
	名古屋名南	46	46	41	1	0	6	0	0	47
	名古屋名駅	78	80	72	2	0	10	0	0	82
	名古屋丸の内	43	43	36	0	0	7	0	0	43
	中部名古屋みらい	18	18	14	0	0	4	0	0	18
	名古屋宮の杜	68	69	65	0	0	4	0	0	69
14RC	1,116	1,141	1,091	7	1	56	0	0	1,147	

2023-24年度 会員増強報告(2023年8月末)

クラブ名	7/1	7/31	8/31	8/1-8/31	8/1-8/31	8/31	8/1-8/31	8/1-8/31	8/31	
	会員数 (加退会含む)	会員数	男性会員数	男性入会	男性退会	女性会員数	女性入会	女性退会	会員数	
東名古屋区分	名古屋北	105	111	110	1	0	2	0	0	112
	名古屋東	81	80	79	0	1	0	0	0	79
	名古屋守山	49	50	41	0	0	9	0	0	50
	名古屋和合	81	85	85	0	0	0	0	0	85
	名古屋名東	59	60	49	0	0	11	0	0	60
	名古屋名北	30	30	22	0	1	7	0	0	29
	名古屋千種	28	28	26	0	0	2	0	0	28
	名古屋昭和	50	50	47	1	0	4	0	0	51
	名古屋錦	35	35	25	0	0	10	0	0	35
	名古屋東山	23	25	19	0	0	6	0	0	25
	名古屋葵	18	19	17	0	0	2	0	0	19
	名古屋アイリス	27	28	15	0	0	13	0	0	28
	12RC	586	601	535	2	2	66	0	0	601
東三河区分	豊橋	111	112	107	1	1	5	0	0	112
	蒲郡	57	58	56	0	0	2	0	0	58
	豊橋北	54	55	51	0	0	3	0	1	54
	豊川	69	71	70	0	0	1	0	0	71
	田原	33	36	35	0	0	1	0	0	36
	豊橋南	54	54	50	0	0	4	0	0	54
	新城	41	41	39	0	0	2	0	0	41
	渥美	32	33	33	0	0	0	0	0	33
	豊川宝飯	72	72	68	0	0	4	0	0	72
	豊橋ゴールデン	55	56	54	0	0	2	0	0	56
	田原パンフィック	36	38	37	1	0	2	0	0	39
	豊橋東	53	53	49	0	0	4	0	0	53
	12RC	667	679	649	2	1	30	0	1	679
西三河中区分	岡崎	83	86	81	0	0	6	1	0	87
	豊田	95	98	98	1	0	1	0	0	99
	岡崎南	68	72	69	0	0	3	0	0	72
	豊田西	107	107	107	0	0	0	0	0	107
	岡崎東	51	53	52	0	0	1	0	0	53
	豊田東	83	83	80	0	0	3	0	0	83
	岡崎城南	42	44	44	0	0	0	0	0	44
	豊田三好	22	23	22	0	0	1	0	0	23
	豊田中	42	43	34	0	0	9	0	0	43
	愛知三州	24	28	25	0	0	3	0	0	28
10RC	617	637	612	1	0	27	1	0	639	
西三河区分	刈谷	93	96	88	0	0	8	0	0	96
	安城	49	50	43	0	0	7	0	0	50
	西尾	75	75	73	2	0	4	0	0	77
	碧南	58	61	60	2	0	3	0	0	63
	西尾一色	20	21	18	0	1	2	0	0	20
	高浜	27	27	25	0	0	2	0	0	27
	知立	54	55	55	0	0	0	0	0	55
	西尾KIRARA	55	55	55	0	0	0	0	0	55
	三河安城	63	63	56	0	0	7	0	0	63
9RC	494	503	473	4	1	33	0	0	506	
合計	4,517	4,618	4,354	23	7	281	2	1	4,635	

8月集計	クラブ数	2023年7月1日の会員数			8月末 会員数	当月の会員増減数			7月1日からの会員増減数		
	84RC	会員数	内男性	4,246		会員数	内男性	16	会員数	内男性	108
		4,517	内女性	271		4,635	17	内女性	1	118	内女性